**平成３０年度　事業報告書**

平成３０年５月1日から平成３１年４月３０日まで

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　特定非営利活動法人　京都難病支援パッショーネ

１　事業の成果

　雇用契約を結ぶ難病患者は20人となった。病状が優れず退職に至った者もいる。入退院を繰り返し断続的な労働となっている者もいるが、概ね継続できている。これも働き方の一つの形であろう。多種多様な働き方は実践できていると思う。これからはその中身が問われる。働きやすい環境が整って何をするかだ。目標として商品アイテムを作り、形を残していくことを掲げた。まだまだ自主的積極的に企画書があげて商品製造につながってないないが、徐々に商品数は増加している。

２　事業の実施に関する事項

　(1) 特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 事　業　内　容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人　　　数 | 支出額(千円) |
| 難病患者に対する就労支援 | 就労継続支援Ａ型事業難病患者からの電話相談（就労関連以外も含む）難病患者からのメール相談（就労関連以外も含む）イベント等で情報発信することで難病患者の交流機会を提供する。 | 通年通年通年3月 | 事務所何処でも何処でも京都府社会福祉会館 | 30人5人5人10人 | 難病患者20人難病者とご家族50人難病者とご家族30人難病者とご家族50人 | 30,387 |